



私達の
参議院議員

田村まみ

生活者と働く仲間の
は応援団長

労働組合の
役員を長年務め
加盟組合の産業・業種の
課題を共有する

UAゼンセンの
仲間の代表

仕事をして税金を納め
堅実な暮らしを営む
市民感覚・視点を持つ

生活者の
代表

スーパーマーケットの
職場で懸命に
働いた経験を持ち
働く仲間の汗や苦勞を知る

働く者の
代表

国民民主党 次世代のホープ

初当選以来、国会で160回を超える質問を行ってきました。これは1年生議員としては異例の多さです。5月25日には、NHK朝の日曜討論(年金改革)に出席するなど、国民民主党の中でもホープとして期待されています。



生活者と働く仲間の笑顔のために

「国政で活動することができたならば、生活者と働く仲間の応援団長になりたい!」。その言葉どおりに、私たちUAゼンセン・IKI・IKIライフクラブ会員と働く仲間の声を国会に届け、諸課題の解決に猛奮闘してきました。今号では、田村議員の活動の原点を振り返り、6年間の成果を紹介します。私たちに、これからも「田村 まみ」が必要です。IKI・IKIライフクラブ機関紙を囲んでご家族とご覧ください。

生活者と働く仲間の等身大の代表として2019年、国会議員に

初当選から6年



2019年の参院選で26万324票を獲得し、国民民主党比例代表第1位で初当選

働く仲間の声を国政に届ける

国会質疑160回超

第25回参議院議員選挙(2019年7月21日)で初当選を果たして以来、全力で働く仲間の政策実現に取り組みました。6年間の成果は裏面へ

労働組合時代



店舗の要であるパートの仲間の処遇改善に全力を上げた

労働組合の役員になり、現場の仲間の声を集めて執行委員会に提案。パートの仲間の仕事の権限を改善しました。さらに、組織化(組合員化)による処遇改善に取り組みました。

パートタイマーの仲間を組合員化し、処遇改善を実現

職場時代



1999年、ジャスコ(現イオンリテール)入社。岡山県内や北陸の店舗に勤務した

イオングループのスーパーマーケット「マックスバリュ」に配属され、デパート部門で豆腐や納豆を担当。店舗では、社員もパートも一緒になってチームで仕事をするこの大切さを学びました。

食をつうじて人を幸せに! スーパーマーケットに就職

田村まみ 組織内参議院議員 6年間の成果

地域別最低賃金の上昇を示すグラフを手に田村議員は、「103万円の壁」が時代に合っていない点を訴えました



注目

「年収の壁」問題に光をあて
解消へ国会で前進はかる

田村議員は初当選以来、自分自身が実際に店舗で見てきた「年収の壁」問題について、国会で質問してきました。家庭の事情などで短時間だけ働くパートタイム組合員のなかには、収入が一定額を超えることで税金の負担が増えるという「年収の壁」問題に「103万円の壁」が引き上げられることになりました。しかし、政府の引き上げ額は不十分であり、引き続き訴えていきます。

「壁」を意識しない働き方へ



田村議員は、消費者問題特別委員会でも自民党消費者担当大臣の認識について質問に立ちました。

消費者問題で総合的対策求める
フィッシング詐欺、物価上昇など真摯な対応を！

フィッシング詐欺については深刻な被害の状況を訴え、また、消費者被害防止のため消費者庁と金融庁の縦割り行政での弊害を鋭く指摘し、一番身近な「消費生活センター」の情報を共有化して連携する」との答弁を得ました。

物価上昇については価格高騰対策として、ガソリン補助金の必要期間までの延長、賃上げ減税の拡充と税額控除額の引き上げ、低所得者等の社会保険料負担の軽減、下請けGメン等の活用で適正価格転嫁や取引ルールの徹底を訴えています。



医薬品・医療機器の安定供給実現へ
引き下げありの薬価の中間年改定廃止を

私達の生命と健康を守るために必要な医薬品について、安定した供給が危ぶまれる状況が続いています。これは、政府による社会保障の財源確保を目的とした毎年の薬価引き下げによるものです。

通算8年連続の薬価の引き下げは、製薬関連企業の収益圧迫を招き、働く仲間の労働条件や生活への負の影響や医薬品の研究・開発・生産・流通の基盤を損なう危険性があることから、田村議員は「中間年改定（II診療報酬改定の年に行われる薬価改定）の廃止」を訴えています。国会質問、業界団体と連携した国会集会や要請を重ね、医薬品や医療機器の安定供給実現に力を注いでいます。

5月21日に開かれた第3回実行委員会では、第3回推進委員会及び組織運営の見直しプロジェクト（PJ）（5月12日開催）での議論、組織現勢などの報告を受けた後、「2026年度活動計画」を認めました。

第3回委
実行委

組織運営の見直しで議論共有化
一括加入組合から意見集約

第3回推進委

生涯現役の時代になる背景踏まえて
退職後も引き続き会員の資格の継続に向けた取り組みについては、現役会員の退職年齢が上がり生涯現役となりつつあるとして、今後の退職者会員の拡大が非常に難しくなっていることを認識が深まっています。



現在、会員は、年齢分布で、現役会員の占める割合が73%（44492名）となり、旧友の会の平均年齢は81歳、IKI・IKIライフクラブ発足後の平均年齢は51歳、製造業部門は92%、流通部門は94%。

田村まみ組織内参議院議員 プロフィール



1976年、東京で生まれ、高校卒業まで広島で過ごす。1999年、ジャスコ（現・イオンリテール）に入社。食品スーパーのマックスバリュでデイリー部門（豆腐や納豆）ひと筋に務める。2006年に組合専従（中央執行委員）。2019年7月の第25回参議院議員選挙（比例代表）で初当選。厚生労働委員会、予算委員会、消費者問題特別委員会、政治倫理審査会などに所属。全国の現場の働く仲間や生活者の声を聴きながら、政策実現に邁進しています。

IKI・IKIライフクラブ会員数年齢分布（2025・4/30現在）

